

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **屋外体育施設管理運営事業**

[0503]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>はやぶさ運動広場</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>施設内の少年野球場、テニスコート、ゲートボール場及び多目的コートの管理運営を業務委託する。 個人、クラブ及び団体の利用受付のほか、施設の維持管理や軽易な補修整備を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	施設開放日数	日	183	184	184	190
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	42,014	37,884	30,086	38,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,609	1,615	1,761	1,677
正職員人件費 (B)		千円	415	403	401	405
総事業費 (A) + (B)		千円	2,024	2,018	2,162	2,082

費用内訳	
23年度	委託料 1,761千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	市民へのスポーツ活動の場の提供	事業を取り巻く環境変化	
--------	-----------------	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

テニスコート少年野球場・ゲートボール場などの屋外体育施設を子供から高齢者まで幅広い層の市民が利用でき、利用者の心身の健康の維持・増進が図られることから妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

市民の身近にある屋外体育施設を整備し、維持管理することにより市民がスポーツに触れる機会が増していることから、貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

無料で届出のいらない施設であるが利用人数を把握しており、一定の施設の利用人数を維持している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

市民の身近にある屋外体育施設の適切な整備により、利用者の増が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

経費の削減に努めてきており、削減は難しい。